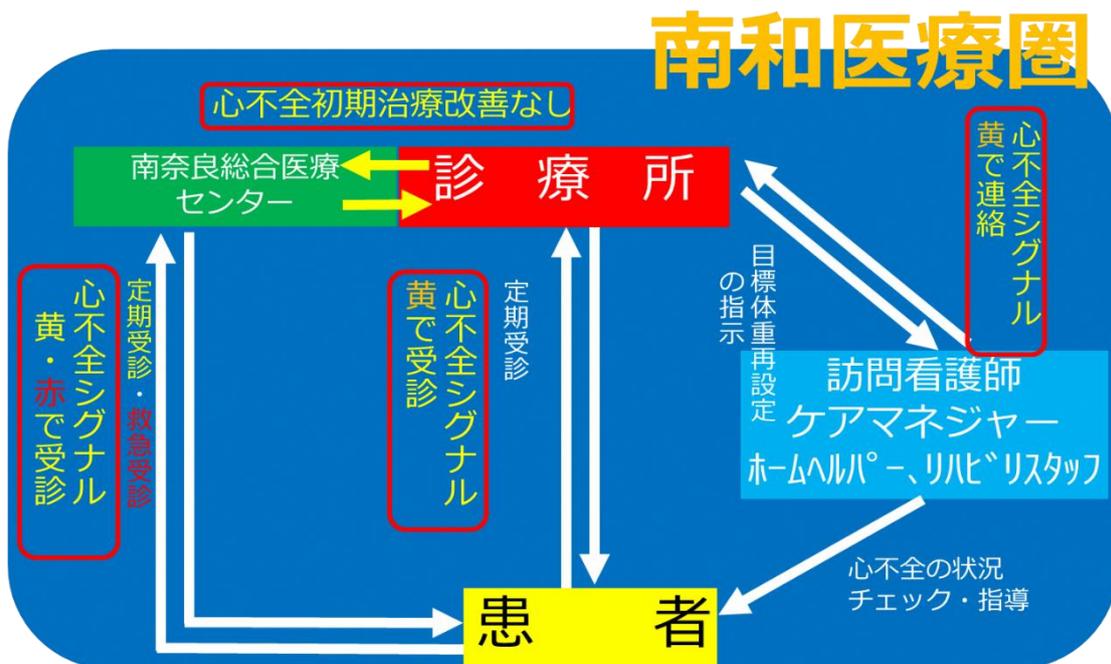


南和医療圏『心不全シグナル』について

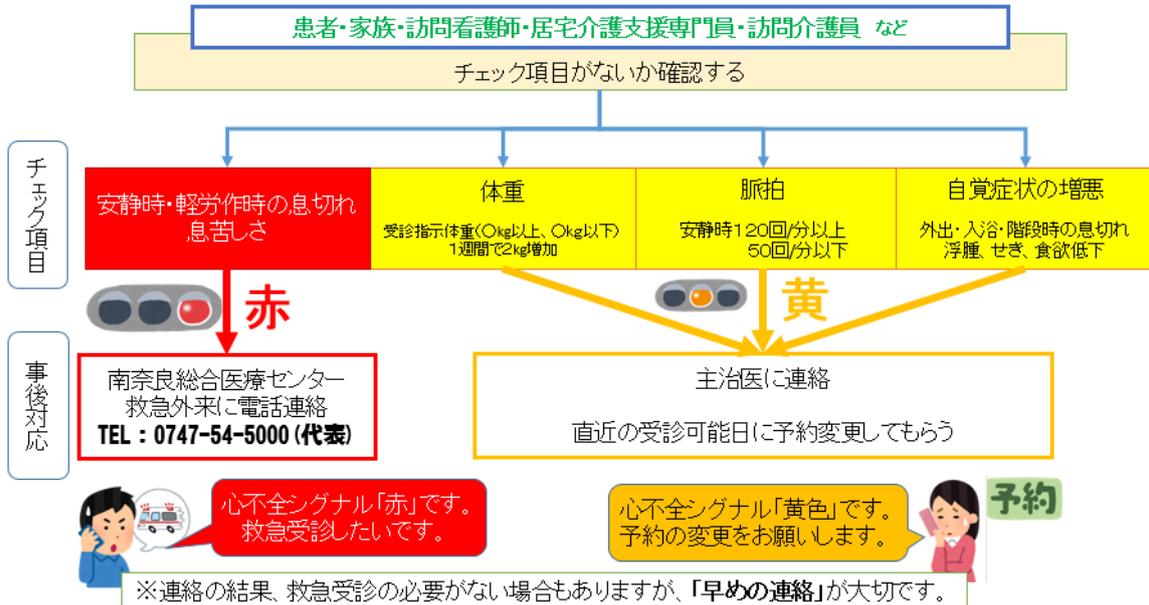
南奈良総合医療センターでは、『南和地域の健康寿命を延ばす！』を合言葉に医師、看護師、管理栄養士、社会福祉士、薬剤師、理学療法士等が「循環器サポートチーム」を結成し、循環器疾患患者さんのために活動を行っています。その活動の1つに心不全患者さんへの新しいサポート体制の構築があげられます。

これまでの循環器サポートチームの活動から見つかった課題のひとつが、重症心不全への対応です。一般的に重症心不全の予後は悪く、入院期間も長期になると言われています。そこで心不全悪化の早期発見、早期受診のために、平成31年度より『心不全シグナル』を導入し、南和地域全体で心不全患者さんをサポートしていきたいと考えています。心不全シグナルとは、患者さん本人・介護者等が体重の変化や自覚症状から、心不全の悪化を早期に把握するためのものです。体重の変化と自覚症状などから、青信号（問題なし）、黄色信号（早期受診推奨）および赤信号（救急受診推奨）の判断ができ、早期受診や救急受診の行動をとっていただきます。ご興味のある方はかかりつけの医師にご相談ください。

今後、心不全シグナルの導入に伴い退院前カンファレンスの増加が予想されます。心不全シグナルの円滑な運営には、患者さんや患者家族の理解のみならず、地域社会で医療や介護を支えて頂いている皆様の力がかかせません。何卒ご協力いただきますよう宜しくお願い申し上げます。



南和地域「心不全シグナル」について



< 「赤」信号の具体例 >

- ・座っているだけでしんどい、息切れがする
- ・家の中での移動、トイレ、着替え、洗面、食事、会話などで息切れや息苦しさがある
- ・横になると息苦しい（座っている方がラク）

→ 南奈良総合医療センター代表へ電話し、
「心不全の連絡です。救急外来をお願いします」とご連絡ください。

※電話で様子をうかがった結果、すぐに救急受診する必要がない場合もありますが、まずは早期に探知することが大切ですので上記に該当すればご連絡下さい。

< 「黄色」信号の具体例 >

- ・主治医から指示されている体重を超えた／下回った。
- ・1週間前の体重に比べ、2kg以上増えた、1週間以内で体重が2kg以上増えた
- ・今まで大丈夫だったのに、坂道や階段を上ると息切れがする。
- ・足のむくみがひどくなってきた（すねの部分を押すとしばらく後が消えない）
- ・食欲がない。ご飯を食べていると息苦しい。

→ かかりつけ医に連絡し、直近の受診可能な日に予約を変更してもらって下さい。